

平成26年度 第5回飯田市行財政改革推進委員会 議事録

日時：平成26年12月20日（土）10:00～11:00

場所：市役所 第1委員会室

出席者：佐々木(重)会長、吉川副会長、山崎委員、永田委員、木下委員、熊谷委員
佐々木(祥)委員、西塚委員、中島委員、森下委員、矢島委員（11名／13名中）
佐藤行財政改革推進本部本部長、小池総務部長、三浦人事課長、清水企画課長補佐
今村財政課長、事務局
欠席者：須山委員、小島委員

1 開会（佐々木会長）

2 あいさつ

（佐藤本部長）

- ・本年度は主として公共施設マネジメントについて取り組んでいただいた。本日は前回勉強会後の意見も含めたマネジメントの審議をお願いしたい。

（佐々木会長）

- ・公共施設マネジメント基本方針案を共に作り上げていく。今までは言いつ放しの部分もあったが、行政とキャッチボールをしながらよりよい原案を策定したい。今後ご協力いただきたい。

3 協議事項

（1）飯田市公共施設マネジメント基本方針（案）について（説明：財政課長）

①基本方針（案）の説明

勉強会後の各委員からの意見と事務局の考え方を基本方針案へ追加した。年度末までには基本方針としてまとめ、平成27年度以降は基本方針に基づいて推進していきたい。
→ 質疑等なし。

②意見取りまとめ内容の説明（次第資料P1から説明）

各委員からの内容・意見に対する事務局の考え方について説明。
→ 質疑等なし。

③意見交換

・佐々木会長

美術博物館などの保管庫、陳列棚などの見直しはどうか。美術品の置場が不足しているのではないか。

・木下委員

市立動物園の年間利用者は10万人を超え、子どもの森公園も多くの利用者がある。利用料について、他市では成人入場料、子ども入場料などに分類して徴収している実態がある。これら施設のコストも掛かるため、飯田市の財政状況からであれば入園料は徴収すべき。また市民も使用料を支払う感覚を持つ必要があると考える。

指定管理については今までの施設運営のノウハウもあるので、プロポーザル方式で実施することが良いか否かの議論も必要。

→ 以前は直営により有料で運営していたこともあった。現在は指定管理で運営し無料としている。指定管理者の努力もあり来場者が増加している。無料で利用者が多いか否か

は議論もあるが、エサ代程度は徴収してもよいのではないかとの指摘もある。またサービス向上のため市民に負担いただく考えもある。主管である建設部へ伝える。（小池総務部長）

指定管理については原則的に公募型プロポーザル方式で実施。非公募は地域密着など特定の者が利用することがよりよいだろうと思われるものについては非公募。動物園については良い実績を残していると思うが、今後市民の皆さんが更に喜んでいただくためには一定の期間で見直していくことも必要と考える。（財政課長）

・佐々木(祥)委員

公共施設マネジメント基本方針は支援したい。方針(案)推進方策のとおりしっかり進めていただきたい。施設保有は飯田市だけでは大変である。今後リニアも関係してくるため県施設も広域で連携し誘致するようなことも考えられるのでは。

→ 県施設が少ないのは指摘のとおり。長野県も公共施設の集約化、複合化について検討している。リニア開通後も見据え長野県全体を見たときにどの施設が必要か提案していきたい。（佐藤本部長）

・山崎委員

かぐらの湯は15年経過しており当初13万人の入場者があった。現在は地元の利用者が減り年間7万人となってしまった。原因は合併後の料金改定により村内居住者の入浴料を値上げしたことや観光客の減によるものと考えられる。決算もギリギリの状態であるが指定管理料等でかろうじて経営している。施設利用料については地域に見合った利用料を設定したいがどうか。

→ 利用料金改定は受託者が市長に相談できることになっている。受託者から状況を聞きたい。（財政課長）

・佐々木会長

公共施設マネジメント基本方針案について → 了承した。

(2) 公共施設マネジメント基本方針(案)の検討について

手順について提案説明(説明:財政課長)

事務局による意見、検討を踏まえた答申案の作成。その後H27.1.9に各委員へ送付。

答申案に対する意見はH27.1.20までに事務局へ提出。H27.1.24第6回行財政改革推進委員会で内容確認しその日に答申をいただく手順で参りたい。

→ 意見なし。了承。

(3) 平成26年度指定管理終了施設の実績評価について

実績評価及び方針検討票により説明(説明:財政課藤本係長)

→ 意見なし。了承。

4 その他

- ・H27.1.24(土)10:00~ 第6回推進委員会、新庁舎2階 A202委員会室
- ・その他質疑等なし。

5 閉会